

みやぎの木づくり運動



みやぎ材利用のススメ

〈みやぎ材利活用事例集〉



宮城県



●お問い合わせ先●

宮城県 農林水産部 林業振興課

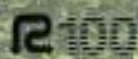
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL : 022-211-2912

FAX : 022-211-2919

ホームページ : <http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/>

E-mail : rinsin@pref.miyagi.jp



宮城県産木材を使用した環境に優しい印刷技術「大豆インク」を使用した印刷物です。
印刷物の一部には、一部有害物質が含まれる場合があります。

平成19年3月作成

梨仙沼市立

月立小学校

平成18年9月に完成した月立小学校は、学校林や地域の木材を活用した木造校舎です。構造材及び内装材には地元のスギ・アカマツ材をふんだんに使い、林業が盛んなこの地域のシンボルとなっています。なお、県内最古の木造校舎だった旧月立小学校は、地域のコミュニティセンターとして大事に使われています。



校舎の外観



校舎の内装

石巻市

北上総合支所



総合支所庁舎と公民館の複合施設で、大断面集成材による屋内運動場も迫力があります。



南三陸町

歌津公民館



構造躯体には、町有林のスギ(98㎡) アカマツ(64㎡)を使用した大断面集成材を用い、内装材にもスギ材(29㎡)を中心に、木のぬくもりと地域の誇りを大切にした空間を実現しました。

女川町

女川温泉ゆぽっぽ



木とお湯の温もりが優しい温泉です。正面玄関前には、足湯もあります。



登米市

中江中央公園トイレ



内装材に、県産スギ材をふんだんに使いました。

川崎町

青根温泉公衆浴場



構造材・内装材とも川崎町内のスギ・ヒノキ・アカマツを使った公衆浴場で、すがすがしい木の香りが漂っていると好評です。



足湯

公共施設木質化の事例

大崎市立

鳴子中学校

平成18年4月に、旧鳴子町の「鳴子中学校」「鬼首中学校」「川渡中学校」の3校を統合した新しい中学校です。躯体はRCですが、内装に地元のスギ材をふんだんに使っています。



校舎の外観



メモリアルモール（廊下と天井に鳴子のスギ材を使用）



室名のサインは、
鳴子らしくこけし
を使用



階段脇の内装



木造キャノピー（ロータリー）

大崎市立

松山小学校

平成18年12月に完成した新校舎は、木質の柔らかさと強度を重視し、構造体としてLVL（単板積層材）を採用しました。また、内装には地産地消の観点から大崎市内(旧松山町)のスギ材をたくさん使いました。



校舎の外観



玄関ホール



図書室

加美町立

広原小学校

平成18年4月に完成した校舎は、町の豊かな森林資源の活用を図るとともに子供達に「木の優しさや温もり」を知ってもらうため床や壁・机や椅子などに地元材をふんだんに使っており、木の温もりあふれる学校です。



校舎の外観



玄関ホール



ワークスペース

優良みやぎ材の家

■優良みやぎ材住宅の良さ

- ①断熱性
木の床は、断熱保温性が優れているため、温もりがあります。
- ②調湿作用
木は呼吸をしているので、室内の換気・湿度の調整を自然にしてくれます。
- ③衝撃緩衝作用
肌触りがやさしく、弾力性があるためコンクリートなどと比べてぶつかったときなどの衝撃が少ないという特性があります。
- ④目にやさしい
木は紫外線の吸収率が高いことから、目にとても優しい素材です。
- ⑤リラックス効果
木の持つすがすがしい香りが人をリラックスさせ、心を落ち着かせてくれます。
- ⑥防音効果
木の家は、室内の音を吸収したり、反射したりして音を和らげてくれます。



■美家木(みやぎ)モデル住宅支援事業

県では、県産材利用の推進を図る一環として、木造モデル住宅を使った県産材のPRに対して支援する「美家木(みやぎ)モデル住宅支援事業」を実施しています。

宮城県内の大工・工務店及び地域ビルダーが対象で、「優良みやぎ材」を使用したモデル展示場の運営・PRに対する補助事業です。

詳しくは、宮城県林業振興課のホームページをご覧ください。

ホームページURL：<http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/modeljyutaku/model.html>

■優良みやぎ材の認証

みやぎ材利用センターでは、県内産の木材を原料に県内で加工された木製品について、規格や寸法、含水率などの品質を検査し、合格した製品を「優良みやぎ材」として供給しています。

認証シール

優良みやぎ材



みやぎ材利用センター

品質を検査し、合格した製品には、安心・安全の証として「優良みやぎ材認証シール」を貼付します。



認証材を使った住宅建築現場



■品質検査

構造材は1本1本機械により品質検査を行い、材面に品質検査結果が印字されます。

SD (Surfaced Dry) とは表面仕上げされた乾燥材の略です。
SD15は、表面仕上げ済み乾燥材で、含水率15%以下を表しています。



Eは、ヤング係数といい、木材の強さを数値(tf/cm²)で表しています。
この数値が大きい方が変形しにくく丈夫な木材です。
E50は、柱材に適しており、E70は柱材や荷重の少ない横架材に、E90以上はたわみが重視される横架材に最適です。

みやぎ材利用センター

■みやぎ材供給のワンストップ窓口

みやぎ材製品のワンストップ窓口として、「みやぎ材利用センター」が平成18年7月にオープンしました。

みやぎ材利用センターは、住宅や公共施設建築に使用する建築資材や土木用資材などのみやぎ材製品を安定的に供給します。

■みやぎ材利用センターの取扱製品

建築用製品



住宅建築



公共施設

土木用製品



小径木丸太



柵工



土留工

県産合板



県産スギ合板



住宅建築用



型枠用

■問い合わせ先〈みやぎ材利用センター〉

〒981-0908 仙台市青葉区東照宮1丁目8の8(宮城県木材会館内)

TEL 022-233-2883(代) FAX 022-275-4936

URL: <http://www.mnine.jp/~miyagizai/index.html>

Email: miyagizai@mb.mnine.jp

お見積り・ご注文等は直接下記までお問い合わせください。

〈建築資材〉

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹二丁目7-30(宮城木材文化ホール内)

TEL 022-239-2011 (FAX兼)

〈土木資材〉

〒981-3601 黒川郡大衡村大瓜字沓掛112(宮城県森連大衡総合センター内)

TEL 022-345-2205(代) FAX 022-345-2948

〈合板資材〉

〒986-0005 石巻市大瓜字棚橋下待井65-1(石巻地区森林組合内)

TEL 0225-93-1711(代) FAX 0225-93-1707

「みやぎの木づくり運動」展開中！！

- 宮城県内の森林は、スギを中心とする人工林の成長により、量的に充実した状況にあり「森林を活かす時代」に入っています。
- 「森林を活かす」ことは、木材を生産しながら適切に管理することによって、森林が持つ「災害の防止」や「地球温暖化の防止」、「水資源のかん養」、「リフレッシュの場の提供」といった公益的機能も十分に発揮させることとなります。
- また、県産材を使うということは、その生産・製造過程を地元で行うことになるので、地域経済を潤すことにもなります。
- そこで、宮城県では、県内のNPO、関係団体、企業等と広く連携し、県産材の一層の利用拡大を図るため、「みやぎの木づくり運動」を県民運動として展開しています。
- 皆さんも、できるところから木をつかってみませんか？



＜木製ネームプレート＞

県庁では、知事を始め木製ネームプレートを着用しています。木目が美しく、人にも環境にも優しいのが特徴です。

＜スギのデスクマット＞

職場の机にも、間伐材等を貼り合わせた木製デスクマットを使っています。夏はひんやり、冬はあたたかいと評判です。



＜木製机上名札＞

宮城県庁の庁議室で使用している机上名札は、宮城県の木であるケヤキを材料にしています。

＜木製工事名表示板枠＞

県発注の公共工事では、「1工事現場・1木製品運動」を行っており、工事用看板に県産スギ丸太を枠材として活用するなどしています。

■「みやぎ材利用拡大行動計画」

県産材の利用を拡大していくためには、公共建築や公共工事、物品購入等において県が率先して県産材の利用を推進していくことが重要あることから、これを着実に取り組んでいくため、「みやぎ材利用拡大行動計画」を策定しました。

詳しくは、宮城県林業振興課のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/koudoukeikaku/keikaku.html>